学校番号	3021

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	2	2	英文法基礎 10 題ドリル Vision Quest Insight 英文法･語法･熟語問題集 Jet Reading　レベル２

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学んだ英語表現をどう使うか考えながら学習するのが英語のアウトプット力を高める鍵です。予習復習を徹底して授業に臨みましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的なあいさつや簡単な指示を理解することができる。 ・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。	・日常生活で使われる英語の中の語句や簡単な文章を理解することができる。 ・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵や写真を参考にしながらあらすじを理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる。	・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。 ・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の3つの領域(話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと)について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識･技能を身に付けている。 外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	<英文法基礎10題ドリル> Lesson 1 ~5 [文型]	〈書くこと〉	a:５文型の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。 b:５文型の意味・用法の違いを意識し，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c:適切な文型を用いて，自己紹介や自分が好きな物やその理由を含めて伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [発表]	a:５文型の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。 b:５文型の意味・用法の違いを意識し，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c:適切な文型を用いて，自己紹介や自分が好きな物やその理由を含めて伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a:５文型の意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。 b:５文型の意味・用法における文型の違いを意識し，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c:積極的にクラスメートと自己紹介やインタービューをし合い，適切な文型を使って，その内容についてクラスで共有しようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	中間考査			
	<英文法基礎10題ドリル> Lesson 6~14 [受動態・前置詞・不定詞]	〈書くこと〉	a:受動態・前置詞・不定詞の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:受動態・前置詞・不定詞を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c:「朝食には洋食よりも和食の方が良い」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [発表]	a:受動態・前置詞・不定詞の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:受動態・前置詞・不定詞を用いて，適切な思考・判断をもって自分の言いたいことを正しく発表することができる。 c:「朝食には洋食よりも和食の方が良い」という論題について、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a:受動態・前置詞・不定詞の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:受動態・前置詞・不定詞を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c:「朝食には洋食よりも和食の方が良い」という論題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	期末考査			
2学期	<英文法基礎10題ドリルt> Lesson 15~22 [動名詞、分詞構文・名詞]	〈書くこと〉	a:動名詞、分詞構文・名詞の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:動名詞、分詞構文・名詞を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c:「本物の犬より犬ロボットのほうが良い」という議題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [発表]	a:動名詞、分詞構文・名詞の意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:動名詞、分詞構文・名詞用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c:「本物の犬より犬ロボットのほうが良い」という議題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 [やり取り]	a:動名詞、分詞構文・名詞意味・用法を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:動名詞、分詞構文・名詞を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c:「本物の犬より犬ロボットのほうが良い」という議題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	中間考査			

	<英文法基礎１０題ドリル> Lesson 23~31 ［関係詞・副詞・比較］	〈書くこと〉	a:関係詞・副詞・比較を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:関係詞・副詞・比較を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c:「幼少期からの英才教育は子供を幸せにする」という議題について、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 ［発表］	a:関係詞・副詞・比較を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:関係詞・副詞・比較を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c:「幼少期からの英才教育は子供を幸せにする」という議題について、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 ［やり取り］	a:関係詞・副詞・比較を理解し，状況に応じて使うことがでる。 b:関係詞・副詞・比較などを用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c:「幼少期からの英才教育は子供を幸せにする」という議題について、自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	期末考査			
3学期	<英文法基礎１０題ドリル> Lesson 32~36 ［時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置］	〈書くこと〉	a:時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置を理解し，状況に応じて使うことができる。 b: 時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく書くことができる。 c:「フェアトレードは不公平である」という議題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 ［発表］	a:時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく発表することができる。 c:「フェアトレードは不公平である」という議題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
		〈話すこと〉 ［やり取り］	a:時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置を理解し，状況に応じて使うことができる。 b:時制、完了形・助動詞・仮定法・倒置を用いて，適切な思考・判断をもって自分の伝えたいことを正しく話すことができる。 c:「フェアトレードは不公平である」という議題について，自分の考えを理由とともに伝えようとしている。	学習状況の観察 提出課題 小テスト 定期考査 ペアワーク グループワーク
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度